

【平成29年 第1回 定例会一般質問・総括質疑】

川越 信男 議員

- 1 子育てに立った児童広場のリニューアルについて
 - (1) 児童広場の現状について
 - (2) 遊具の整備・撤去について
 - (3) 児童広場・公園整備における子育て対策の考えは

- 2 医療体制の充実について
 - (1) 市民ニーズに対する連携について
 - (2) 垂水中央病院の充実及び具体的な動きについて
 - (3) 鹿児島大学との連携の考え・見通しは

- 3 教育旅行の取組について
 - (1) 教育旅行に対する市の役割は
 - (2) 平成28年度の実績は
 - (3) 新年度予算から・・・見込み・経済効果は

- 4 南の拠点整備事業について
 - (1) 地方創生拠点整備交付金の事業目的・内容について
 - (2) 地方創生拠点整備交付金の財源について
 - (3) 鹿屋体育大学との連携について
 - (4) 地元の浜辺の再生及び地区の活性化の要望について

堀内 貴志 議員

- 1 来年（平成30年） NHK大河ドラマ「西郷どん」が始まり、鹿児島が注目される年が来るが、垂水市の観光振興に活かす手立てはないのか
 - （1）平成29年度施政方針に一言もないが、市長の見解は
 - （2）大河ドラマ「西郷どん」に関連して、垂水市には資料や史跡は存在しないのか
 - （3）「西郷どん」効果に便乗した取組はできないか

- 2 垂水市の観光協会の現状と在り方について
 - （1）現状から検討する課題はないのか
 - （2）南の拠点に観光協会の事務所（局） を作れないか

- 3 雇用の創出と定住対策の取組について
 - （1）これまでの事業に対する検証及び効果について
 - （2）地域若者「就地」拡大プロジェクト事業について
～その目的と内容
 - （3）民間賃貸住宅家賃助成事業について
～その目的と内容

- 4 子育て相互援助活動について
 - （1）ファミリーサポート事業実施までの経緯とその事業の内容について
 - （2）子育て支援センターの役割と業務の違いについて
 - （3）事故防止対策と事故発生時の責任の所在について

川畑 三郎 議員

- 1 運動公園改修事業について
 - (1) 垂水運動公園陸上競技場の多目的利用型へ改修される施設の現在の状況は

- 2 農林水産業について
 - (1) 台風16号における災害復旧の状況は
 - (2) 農村地域防災減災事業は
 - (3) 水産業における今年度の事業は

- 3 南の拠点整備事業について
 - (1) 土地の売買の状況は

- 4 新庁舎建設関連事業について
 - (1) 市有施設整備基金は

梅木 勇 議 員

- 1 農村地域防災減災事業について
 - (1) ため池の所在と管理状況は
 - (2) ハザードマップについて
 - ア 必要性について
 - イ どのような情報を掲載されるのか
 - ウ マップの周知等は
- 2 新規農作物について
 - (1) 選定作物は決定されたか
 - (2) 作物の消費動向・市場性は
 - (3) 作付対象農家は
 - (4) 作付・育成・管理作業等の指導は
- 3 集落水道について
 - (1) 水道の現状と衛生・安全等について
 - (2) 点検業務・水質業務委託の内容は
 - (3) これからの在り方について
- 4 浄化槽設置整備事業について
 - (1) 合併処理浄化槽設置のこれまでの実績は
 - (2) 今年度からの市内業者に依頼した場合の上乗せ補助の効果は
 - (3) 普及率は

森 正勝 議員

1 市長の政治理念と政治姿勢について

(1) 市政運営にあたっては、これまで培った国や県とのパイプを生かし、市政運営に努めていきたいとあるが、これは具体的にはどういうことか

2 台風16号の牛根地区の災害復旧について

(1) 施政方針の中に、災害復旧にあたっては、今後、早期復旧に向け全力で対応してまいりたいとある。そこで、牛根地区の災害復旧について聞く

3 平成29年度一般会計予算案について

(1) 平成27年度の決算における財務諸表等の数値は改善されており、その努力には敬意を表す。平成29年度は、台風災害復旧費が10億7974万円となっている。これらが平成29年の財務諸表の数値にどのような影響があるか。また、災害復旧費の財源はどうか

感王寺 耕造 議員

1 垂水市空家等対策協議会条例について

(1) 協議会の委員に、総務・財政・税務・市民・生活環境・土木課長、消防長は参加させないのか。

地域住民を委員に参加させると、所有権・相続権者の特定等秘密保護上、問題があるのではないのか。

また、協議会の所掌事務のひとつである「空家等の適切な管理に関する協議」については法的知識が必要だと思うが、地域住民では議論に参加できないのでは

(2) 対策協議会で、実態調査・立入調査、「特定空家」の認定、助言・指導、勧告、命令、代執行についても協議するのか

(3) 第7条中の垂水市情報公開条例第7条・不開示情報を含む場合、不開示とすることは問題があるのでは

2 垂水高等学校振興対策について

(1) 県教育委員会の発表（2月15日）によると、本年度の出願者数は普通科12人、生活デザイン科29人、倍率0.3、0.73倍となっている。本年度も「垂水高等学校振興対策協議会補助金」1,150万円が計上されているが、これまでの事業実施の検証と定員確保の今後の対応は

(2) 今後も年少人口は減り続けるが、いつまで事業を継続するのか

3 新規・小中学校機械警備委託（2,916千円）について

(1) 法的根拠での事業実施なのか

4 鹿児島国体について

(1) 鹿児島国体（平成32年度）に向けて、垂水市実行委員会運営補助金43万3千円が計上されているが、実行委員会の委員の構成と所掌の内容は。予算は充分なのか

(2) 国体開催前のプレ大会の実施。国体終了後も、フェンシング・綱引き・スポーツチャンバラの競技が本市の財産となるような取組が必要ではないか（町おこし・競技会の誘致を通じての交流人口の増）

北方 貞明 議員

1 市長の政治姿勢について

(1) 市政運営の姿勢について

2 弱者対策について

(1) 買物弱者についての本市の取組状況は

3 垂水絹糸跡地について

(1) 活用について

4 南の拠点について

(1) P F I 施設に垂水市は、総額 7 億 4494 万 1 千円、内 S P C (企業合
同体) に 15 年間で 5 億 977 万 6 千円支払うが、市のメリットはあるの
か

5 瀬戸口藤吉翁生誕150年について

(1) 来年、生誕150年を迎えるが、本年度の計画は

持留 良一 議員

平成29年度施政方針並びに各会計予算案に対する総括質疑

1 政治姿勢

(1) 「安心安全で・・・」

何をもって「安心安全で住んでよかったまちづくり」になるのか。くらし（防災等を除く）の面では

2 予算の考え方（社会保障等切捨てや負担増が進むもとで市民生活を守る対策が打ち出されていないのではないかと）

(1) 調和と均衡のとれた予算を

ア 重点施策・事業が総花的で、結果・効果が出せるのか

イ 前年度の繰越金についての考えは

ウ スクラップアンドビルドは問題ないのか。市民の暮らしを守る内容になるのか。優先度評価を行う方式の検討は

(2) 市民の暮らしを支える予算となっているのか

ア 前進面は、後退面は、住民要求に対しては

(3) 高齢者の生活を支援できる内容か。どのような支援が必要と考えるか。今後の方針は

ア 老齢年金の平均受給額は

(4) 子どもの貧困対策は十分か。課題と今後の方針は（必要な施策と工程は）

ア 市民一人当たりの所得は

特別会計

1 介護保険事業

(1) 介護保険制度の改定により給付の削減、新たな負担の中、「必要なときに必要なサービスの提供、安心して介護が受けられる」という保障はあるのか。市の対策はあるのか

一般質問

1 南の拠点事業問題について

(1) 債務負担行為を取り下げる場合のケースは

(2) VFMで実施した場合の総コストが説得力をもって算定されているか。それは合理性はあるか

ア 建設費や維持管理費はどの程度削減されているのか（削減率の合

理性)

イ 割引率差の合理性はあるのか

(3) P F I 事業導入の場合～基本方針である五原則・三主義に立って運営が求められ、チェックシステムを規則で

ア 事業立案段階で議会や住民への説明責任、情報の公開は。事業選定段階での質問の受付は

イ 事業者選定委員会（実施方針公表段階）へ利用者・住民代表の参加は。入札以前に評価基準（客観的）の公表を。その結果の公表を（選定の根拠となる資料・議事内容等の公表）。選定基準として地元企業の参加を

(4) デメリットは解決されるのか

2 森の駅について

(1) 指定管理者制度～公共施設と管理と経営は問題ないか

ア 住民の平等利用の確保はできているか（施設が企業の収益の道具となってはならない）

イ 公共的使命（行政の政策的目的）の実現はどうか

ウ 運営にあたっての管理費削減という効率性の実現は

エ 活性化施設の利用状況と影響と問題認識は

3 雇用・労働行政の在り方について

(1) 地元雇用対策への取組は。環境づくりの必要性は

ア 働き方改革（長時間労働の是正やサービス残業の根絶などで、人間らしく働けるルールの確立を。健全な経済成長への好循環をつくり出すことができる）で働く環境づくりの推進が必要と考えるが取組や方針は

4 学校給食の無償化・助成への考え方について

(1) 全国で417自治体（無償→55自治体／一部補助→362自治体 平成17年度現在）での取組についての見解は

(2) 「貧困と格差」が広がる中、若い世代の定住対策としても期待が高い。検討の必要性は

池山 節夫 議員

- 1 施政方針と予算案について
 - (1) 新庁舎建設関連事業について
 - (2) 地域若者「就地」拡大プロジェクト事業について
 - (3) 南の拠点整備事業について
 - ア 平成30年夏オープンについて
 - イ S P Cについて
 - ウ (株) 垂水未来創造商社について
 - エ 民間整備活力エリアについて
 - (4) 垂水中央病院の機能充実について
 - (5) 健康づくり事業の充実について
 - (6) 中央運動公園のリニューアルオープンについて

- 2 公共施設等総合管理計画について
 - (1) 施設管理の効率化と施設の統廃合について

- 3 子育て支援について
 - (1) 給食費無償化について

村山 芳秀 議員

平成29年度施政方針と各予算案について

1 公約の実現性について

2 南の拠点事業について

(1) 3つの拠点の周遊性について

(2) 15年に及ぶ債務負担行為（運営負担金）がもたらすものは

(3) 交流人口200万人達成と雇用・創業の創出について

3 公共施設等総合管理計画（案）と今後の財政運営について

篠原 静则 議員

1 市政について

- (1) 南の拠点事業について
- (2) 土地交換について
- (3) 交流人口について
- (4) 清掃センターについて
- (5) 農業、水産業の6次産業化について
- (6) 安心、安全について

川尻 達志 議員

1 法定外繰り出しについて

- (1) 税込、地方交付税の減少が予想される中、本市、法定外繰り出しが増えることが予想される。見通しと対策は

2 南の拠点について

- (1) 人員計画について、何人採用する予定か
- (2) マリンスポーツ計画の内容は
- (3) 道の駅とは競合しないのか

3 ふるさと納税について

- (1) 12月議会でふるさと納税については、使い勝手のいいようにやっていきたいと答弁されているが、具体的にはどのように考えているか